

ある環境活動を、更に発展・成長させる活動（設立2年以上の団体）、●スタートアップおうえん：新たに取り組みを始める環境活動（設立1年以上の団体）

【助成金額】1活動に対して10～100万円、総額1,000万円

【※切】2015年1月15日（木）当日消印有効

【問合せ】公益財団法人日本環境協会東京ガス環境おうえん基金事務局 ☎03-5643-6262

URL:<http://www.jeas.or.jp/>

中央ろうきん助成プログラム

【対象分野】ひとづくり まちづくり 暮らしづくり

【対象団体】1都7県（茨木、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）を主たる活動の場としているボランティアグループや市民団体。

特集 若い世代の市民活動

自分たちの興味あることで集まって立ち上げた団体が、その活動の幅を広げ、何かしら社会に貢献することを考え行動する—そんな市民活動の動きが若い世代にも見られるようになりました。今号では3団体の活動をご紹介します。

◆「こだいらはぐみプロジェクト」（略称“こだはぐ”）は、産後ママの心と体を応援する若い女性たちのチームです。2013年11月に発足。3回目のイベントが、「子育て応援フェスタ@こだいら」として、ルネこだいらレセプションホールで開催されました。父親学級を開いている渡辺大地さん夫妻とこだはぐメンバーのトークセッションや手作り品販売、「冷えとり」ブースなど楽しい催しが一杯。なにより感心したのは、参加者の多くが夫妻で参加していること。お父さんが赤ちゃんを抱っこして、泣くとちょっと席を立ててあやす姿に、おばあちゃん世代は「すごいね!」と感心してしまいました。

そして、NPOフェスタに初参加。広めのブースでは、若い人ばかりでなく中年男性も（たぶん冷え取りの）相談に訪れ、折りたたみ椅子に座り、気持ちよさそうに足のマッサージを受けるなど、人が途切れることなく愉しそうでした。広い年齢層の市民に存在をアピールできたのではないのでしょうか。

12月5日（金）には第5回こだはぐカフェ「ガミガミママを卒業しよう!」を中央公民館で開催する予定です。

◆「こだいらコミュニティ・ミュージック」は、昨年ハタラボの講座で意気投合した音楽好きメンバー3人で結成したグループです。今年2～3月にかけて行われたハタラボ主催の「こだいら未来ウィーク」の1企画として「第1回お茶の間セッション～食と音楽が織りなす、みんなが主役のご近所フェス～」を地域センター和室で行いました。その後「若者世代の感覚を取り入れた音楽とアートのプログラムの開催」という企画で今年度の小平市市民活動支援公募事業に応募して採択され



【助成内容&金額】●スタート助成（活動開始資金、公募）：1団体上限30万円。新たな活動を開始するための助成で、活動実績を問いません。活動の定着まで最長3年継続して助成を受けることができます。但し、毎年度応募し、選考を受ける必要あり。●ステップアップ助成（活動展開資金、非公募）1団体上限100万円。スタート助成で3年または2年にわたって助成を受けて活動を行った団体が、更にその活動を展開・定着させていくための助成。

【応募期間】2015年1月5日（月）～15日（木）必着

【問合せ】中央ろうきん社会貢献基金（中央労働金庫総合企画部内）担当 ☎0120-86-6956

URL:<http://chuo.rokin.com/>

ました。9月には中央公園の広場にシートとちゃぶ台を持ち出して初の野外開催をし、先日の元気村まつりでは体育館に並んだちゃぶ台を囲む人たちが賑わ

っていました。フェスタの課題だった参加団体同士の交流にも一役買おうと、前日の準備段階から交流スペースを設けたり、フェスタ当日は練り歩き宣伝隊として、また夕方には外に音源を持ち出して皆で踊るフィナーレを先導してくれました。12月には中央公民館で行われる「みんなでつくる音楽祭」に参加する予定です。

◆「Comi Café」は、昨年度のあすびあ主催連続講座「コミュニティ・カフェ体験でなかまづくり」から生まれたグループです。受講者達は、講座終了後もNPO法人子育てサポートきららの支援を受けながら、市内のイベントで数回に亘りカフェを開き、好評を博してきました。その間に第2子を出産したメンバーもいましたが、8人がひとりも欠けること無く、1年後再びNPOフェスタでお目見えしました。幼い子どもを抱えながらも、自分の興味あることで集まった初対面のママ達がそれぞれの能力や持ち味を出し合いながら活動を続け、社会との接点を築いていくことは、子どもにとってもプラスになるのではないのでしょうか。そろそろき



ららのサポートを離れて自主的に動き出しそうなComi Caféのママ達に期待したいです。

（文責：伊藤、長瀬、田原）